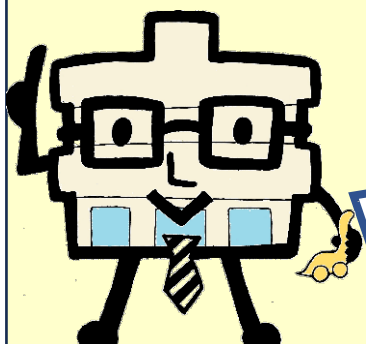


大泉あさひで通信

発行：社会福祉法人 大泉旭学園 旭出生産福祉園 〒178-0063 東京都練馬区東大泉 7-21-32
TEL：03-3925-6166 FAX：03-3925-6169 ホームページ <http://www.asahide.or.jp/>



みんなで作った
旭出の製品です。
これからも
がんばります。





勤労感謝祭



11月23日(土・祝)に勤労感謝祭が開催されました。青葉のついででキッチンカーが好評だったので勤労感謝祭でも呼ぼう!と委員のみんなで計画をしました。ありがたいことに4台のキッチンカーが集まって下さり、みなさんと何を食べようかと楽しみにしていました。しかし、当日は快晴なもの風がとても強い1日となってしまいお天気は良いのに...と心配に思いながら勤労感謝祭が進んで行きました。始まってしまうと心配なんてしなくて良いほどみなさん楽しんでおられました。

アトラクションでは、小学部の和太鼓・おとらぼさんの演奏と行事を華やかにして頂きました。また、キッチンカーにも長い列が出来ており、並んでいる間も何を頼もうかと嬉しそうな様子が見られました。

最後の旭出音頭で集まって頂いた際に人の多さに驚きました。行事中は、気付かなかったのですが、こんなにも集まって頂いたことに嬉しく思いました。

みなさんのご協力があったが無事に終わることが出来たと思います。ありがとうございました。(丸)



すき家のキッチンカーが登場!
この他にも、タルト屋さん・
から揚げ屋さんなどがありました。



勤労賞受賞のお二人による
太鼓演奏♪よく聴こえました!



旭出音頭を踊りました。



製品販売をしました。

委員会の紹介

福祉園では利用者のみなさんによりよい生活を送ってもらうために委員会を設置しています。今回はその中の4つを紹介します。

○給食委員会

給食委員会では食事に関する様々な希望や意見をもとに話し合いを行っていきます。

給食では季節のお楽しみメニューや選択メニュー、昨年度からの試みとして、グループごとのリクエストメニューを毎月実施しています。

また、嗜好調査も行い利用者がどのくらい福祉園の食事に満足しているか等も調べています。

その他にも通所は毎日、入所は3食について喫食量の調査を行い食事がきちんととれているのか調べています。

また、毎月の体重を測定して大きく変化がある方はいないか、体重からBMIの数値を算出しています。

これらの結果を踏まえて、管理栄養士を中心にどのような食事が利用者ひとりひとりに適しているかも話し合っています。



(本橋)

○感染症対策委員会

感染症対策委員会は令和3年度に設置が義務付けられた委員会となります。現在は、コロナウイルスはもちろん、インフルエンザやノロウイルスなど感染症全般の対策を行っています。

委員の活動としては「日常生活における感染予防」と「クラスター発生時における対応準備」を行っています。

日常生活における感染予防では手洗い、うがい、手指消毒、マスクの着用や毎日の健康管理等の重要性を節目ごとに発信しています。

また、看護師による手洗い指導を行ったり、感染予防動画を職員会議時に視聴する等して感染症に対する意識を高めています。

クラスター発生時における対応準備としては感染症発症者が出た際のマニュアルの作成、ゾーニングの確保、感染者対応時の物品の準備等を行っています。

今年度、実際に感染者が出た際にはこれらの対策が功を奏し、クラスターを未然に防ぎ、感染症を収束させることができました。

世の中感染症がなくなるということはないため利用者、職員の健康のためこれからも備えを進めていきます。(落合)

○衛生委員会

衛生委員会は職員の健康維持や職場環境の改善を目指す委員会です。労働安全衛生法に基づき、従業員が常に50人以上いる事業所で設置が義務付けられ、月に一回開催しています。

職員の健康維持のために健康診断の結果報告や産業医との連携、年に一回のストレスチェック、ハラスメント対策を行っています。

職場環境の改善としては害虫、害獣対策などを行っています。(諸岡)

○虐待防止委員会

虐待防止委員会では「虐待防止のための計画づくり」、「虐待防止のチェックとモニタリング」、「虐待(不適切な対応事例)発生後の検証と再発防止策の検討」を目的としています。

具体的には年に1度研修を実施し事例について話し合ったり、ガイドラインの読み合わせ等を行っています。

また虐待防止チェックリストを年2回実施しその結果を周知しています。

障害者支援施設での虐待はニュース等でよく取り上げられています。そのようなことはあってはならない事なのでこれからも注意喚起を促していきます。(諸岡)

支援力育成派遣事業

東京都では、2018年から障害者支援施設等支援力育成派遣事業を開始しています。

これは、利用者の高齢・重度化や強度行動障害等への対応を行っている知的障害者施設等へ専門職等を派遣し、個別メニューの作成支援や技術指導を行うことにより、支援力向上をねらいとしています。

福祉園では近年課題となっている利用者の高齢化等について、解決のヒントがあるのではと考え令和6年度の参加を決めました。

具体的な活動として、同じく派遣事業に参加されていた品川総合福祉センターのことも園さんと合同でそれぞれの施設の見学と施設の抱える課題を話し合いました。

月に一度、派遣事業からアドバイザーを2名迎え、支援チームとして集まり、課題の解決に向けて動いてきました。

そしてこの一年の成果を3月4日の成果発表会にて発表してきました。

この一年の活動ですべての課題が解決されたわけではありません。これからもサービスの質の向上にむけて取り組みを継続していきます。

(落合)

職員研修

12月27日に行った職員研修では「支援力育成派遣事業」の一環として、つるかわ学園の支援部長であり言語聴覚士の鳴原雅典氏を講師として招き『高齢知的障害者の食事支援について』の研修を行いました。専門的な知識をわかりやすくご教授いただきました。

今回はスペースの都合で研修内容の全てを紹介する事は難しいため、障害ごとの特性に焦点を当て、起こりやすい問題の例を紹介したいと思います。

■自閉症

○感覚の特異性

視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚それぞれに過敏や鈍麻がみられることがある。

○視覚の過敏

食堂の照明がまぶしくて食事に集中できない。

○聴覚の過敏

周囲の雑音に反応してしまい、食事に集中できない。

○触覚の過敏

食べ物が唇にあたる感触が嫌で唇に当たらないように食べてしまう。

○触覚、嗅覚、味覚

それぞれの過敏が相まって偏食になりがち。食べ物の触感や臭い、味が受け入れられず食べられない等。

○こだわり

食事の前後を含めたスケジュールのこだわりや、特異な食べ方がある。

■ダウン症

○低緊張

体幹が弱く、座った姿勢が保ちにくい。

○口腔内が狭く高い

本来は舌を上あごにつけて嚥下をすることが正常な動作だが、上あごが高いためそれができない。そのため逆嚥下となって嘔吐をするように飲み込む動作となってしまう。若いうちはなんとかなくても年をとってごまかしがきかなくなってしまう。

○舌の(相対的な)肥大

舌の動きが不器用で特異な嚥下(逆嚥下)となってしまう。

○退行

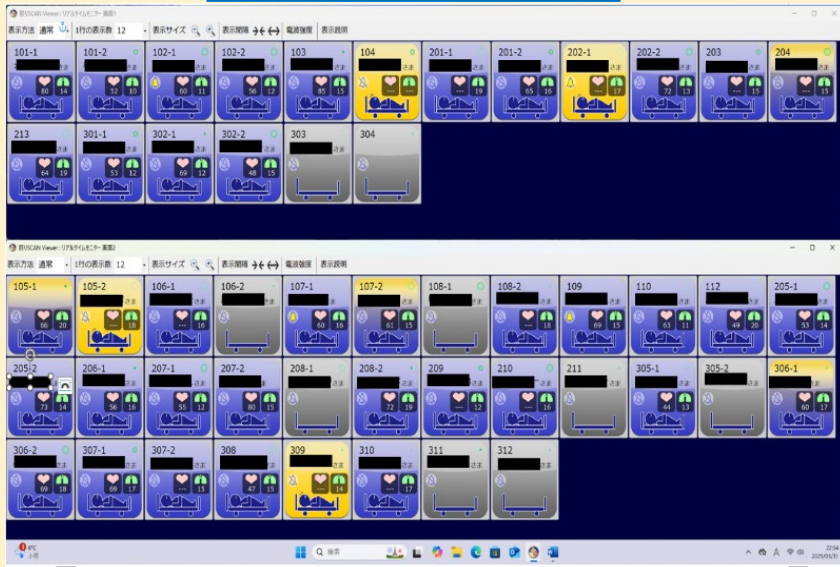
早期の急激で全体的な機能低下がある。

☆コミュニケーションとしての食事

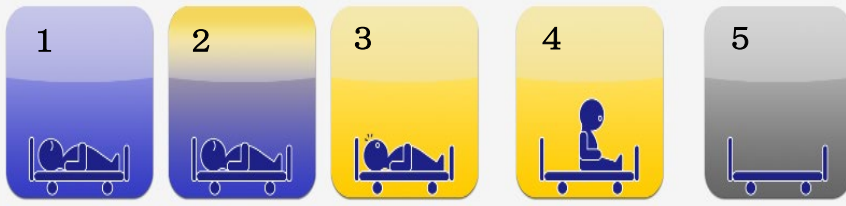
食事場面は単なる栄養摂取の場ではなく、食事を介してコミュニケーションが取れる貴重な場面です。場の雰囲気やスタッフの言葉かけ一つで食事は変わるとお言葉をいただきました。この言葉を大事にこれからも支援をしていこうと思います。

(落合)

リアルタイムモニター



表示説明



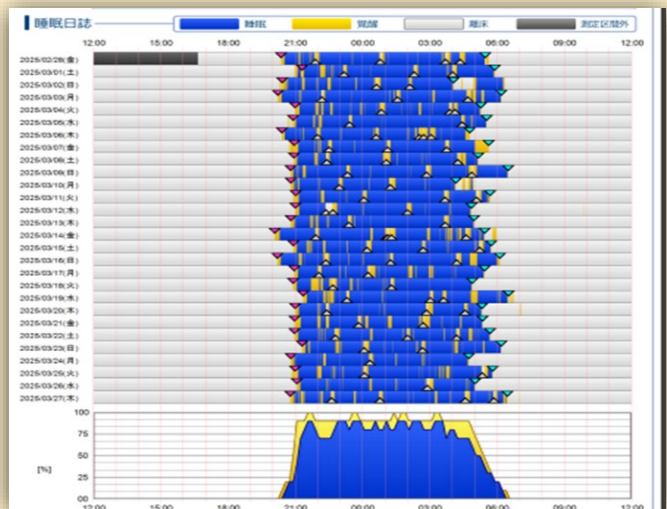
1. 『ベッド上で眠っている』と判定されている状態。
2. 『眠っていない状態から眠っている』状態への移行中。
3. 『ベッド上で眠っていない』と判定状態。
4. 『ベッド上で起き上がり』と判定された状態。
5. 『ベッド上に人が居ない』と判定された状態。

【眠りスキャン】
令和6年度デジタル技術等活用支援事業による補助金で2月から眠りスキャンを導入しました。
眠りスキャンは体動(寝返り・呼吸・心拍など)を捉え、睡眠状態などを測定することができます。マットレスや敷布団などの下に設置して測定を継続しデータを随時確認することができます。



眠りスキャンの内蔵メモリーに睡眠データが保存されます。

現場職員の声
実際に眠りスキャンが導入されたことで、定時に行っていた巡回の他に適宜に負担が軽減されました。
また定時のトイレ誘導も睡眠状況を見ながら適切な時間に誘導できるようになりました、利用者自身の負担の軽減にもつながったと思います。
他にも離床の時間が長い利用者には、なにかトラブルが起きたと予想できるので、より迅速に対応ができるようになりました。導入されていることづくめで
(佐藤)



一か月分の睡眠状況も把握できます。

ウィンターセール

昨年12月11・12日とクリスマスマスフェア改め『ウィンターセール』を開催しました。年間行事にはなく、宣伝もギリギリになってしまいました。が、ご近所さんにポスティング効果もあり、今までとは違うお客さんも来店してくれました。当日買って頂いたお客様から、その後の注文を頂く事もありました。

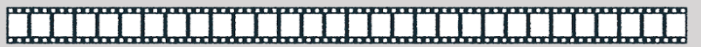
また今回もフリーサポートけやきが、参加型の飾りつけを用意してくれて、色を塗ったり飾りつけを足したりして壁飾りを彩ってくれました。参加した利用者さんは、とても真剣に取り組んで、飾られると「これ私が塗ったの」と、とても満足そうに自信に満ちていました。

今年度もまた、利用者さんの作った製品を少しでも多く販売していきたいと思えます。



あさひで

ミューズ



食堂に大型スクリーンを保護者のみなさまよりの園生福利厚生費で買わせていただき、設置しました。色々と活動に使い始めていますが、利用者さん向けに『あさひでシアター』と命名して映画鑑賞を始めました。季節はクリスマスだったので、『ホームアローン』で気分を高めてもらいました。

利用者さんの中には暗いのが苦手な映画館に行けない方もいるので、会場は少し明るめ、声を出してもOK!で、チケットやポップコーンも用意し本物さながらに開催しました。今後みなさんの映画の希望を聞きながら開催していきたいです。

お花見

4月1日の入所式には咲き始めた桜も暖かくなってきたので1週間後に満開になりました。この時期には特別支援学校や地域の小中学校も入学式だったので丁度桜吹雪の中通われているご家族が多く見られました。

そんな中、毎年、どのグループもお花見を満喫していました。お花見ドライブをするグループ、ブルーシートを敷いて寝転んで桜を楽しむグループ、桜の木の下で苺大福を楽しむグループと様々でした。この季節の福祉園の桜はお花見に最適ですので、ぜひ足を運んでみてください。



(石川)

後援会へ寄付ご芳名一覧(順不同)

令和六年十月～令和七年三月末まで

『みなさまからのご支援ご協力に

厚く御礼申し上げます』



大泉旭出学園の事業につきましてはご高配を賜り感謝、お礼申し上げます。特色ある独自性を発揮した事業展開とその充実を図っていくためには経営基盤を固めていく必要があります。さらに多くの方々に後援会の会員になっていただきたく、会員の方々にはお知り合いなどにご紹介いただけたら幸いに存じます。より一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。



◇退職者

須田 有佳 (ワークショップ)
四元 隆之 (入所部)

◇新職員紹介

増澤 眞由美 (まんまる)

◇年間行事予定(4月～9月)

- 4月1日 始業式
- 4月25日 保護者会
- 5月30日 青葉のつどい
- 6月20日 保護者会
- 6月23日 生活習慣病健診
- 8月12日～17日 夏季休業期間
- 9月12日 保護者会

◇編集後記

最近大がかりに断捨離をしました。やはり服がだいぶスペースをとって、お気に入りだったけどほとんど着ない服や、年をとってなんとなく似合わなくなったものを思い切って処分しました。

そうしたところ、他の面倒くさくて手をつけていなかったこともやはりはじめに最終的には身辺整理みたいになってしまいました。周囲からは、やっていることが老後と突っ込まれました。一応まだまだ生きる予定です。

(落合)